

一般質問



新市政！これからのまちづくりを問う



無会派 ● 中土 翔太 議員

2年後に閉店するとの報道があった大型商業施設について

問 市の対応は。

答 事業者と接触は開始しています。市としては、民間が新たに時代に合った事業を示すことを期待しています。

問 市の中心に位置する当該地が空くことに対する市の認識は。

答 地理的には中心ですが、現実には商売が成り立たないことから、市の中心地であるという認識ではないです。



▲当該商業施設(中央一丁目)

問 西庁舎周辺整備について

問 市長は所信表明において、東庁舎より先

に、建築年の古い西庁舎に取り組むと述べられたが。

答 利便性の悪い石部診療所も含め、任期中に西庁舎周辺整備計画をつくりまします。

問 計画の初期からワークシヨップなどで市民が参画できる場合を。

答 現実的な方法で、市民の意見は、それなりに尊重します。

問 整備後、最も利用する現在の子どもたちなど、多様で幅広い住民の声を聞く仕組みは。

答 時代に合わせ、できるだけみなさんの声を聞くようにします。

職員の育成について

問 市長が職員に求める職員像や、人材育成の方法は。

答 市長としては、研鑽や啓発という言葉は大嫌いです。職員は、市長の仕事ぶりを見て、ついてきてください。



自治体間交流・スポーツ振興でまちを元気に



みらいの風 ● 堀田 繁樹 議員

問 コロナ禍の今、自治体間の連携の重要性と、友好都市との交流の現状について

答 北海道比布町とは、平成11年に友好都市盟約を、鳥取県北栄町とは、平成23年に友好交流協定を締結、職員相互交流も平成25年から実施し、関係団体や市民交流も進めています。両町との交流は今後も継続します。

問 近隣市町との連携について

答 甲賀市、栗東市、野洲市・竜王町との間で各協議会を設置して自治体間の活性化や福祉向上を目的に調査研究・連携を広域的に図りながら進めています。

問 災害協定と災害支援について

答 比布町・北栄町や東海道五十三次の20市区町、岐阜県瑞浪市、奈良県王寺町と相互応援協定を締結していま

す。支援実績は、昨年独自に、福島県南相馬市に給水車・物資支援・職員2名を派遣しました。滋賀県要請では、宮城県丸森町へ保健師派遣や、米原市竜巻被害に調査員派遣を行いました。

問 支援実施のあり方について

答 市負担も考慮して協定締結自治体を優先し、支援していきます。

問 スポーツ施設の現状と今後の方向性、市民グラウンドの再生について

答 指定管理者により日常管理しています。スタンドは消防署の指摘で利用休止中。公共施設個別計画で施設の方向性を検討します。

問 スポーツと地域活性化について

答 オリンピックや国民スポーツ大会は、まちの活性化に生かす絶好の機会と考えます。